

1 国文学の発達

① 10c~11cには、日本独特の文学や美術などが数多くつくられる(1.)文化が、(2.)を中心に発展した。それを象徴するのが(3.)の発達で、^{勢筆}勢筆^{仮名}仮名の草書体を簡略化した(4.)や、漢字の一部を取った(5.)が使われ始めた。 以→~~メ~~→い 伊→イ

(1) 10~11cに展開した貴族中心の文化は? ()
(2) (1)が発達した時期に成立し、日記文学・物語文学を発達させたのは? ()

② まず、和歌が盛んになり、905年に<6. >天皇の命で<7. >らによって最初の(8.)和歌集である『9. 』が編纂された。『新古今和歌集』まで続く(10.)の最初となった。編者の7は、最初のかな日記である『11. 』も著した。

③ 他にも、朗詠^{ろうぎ}〔和歌や漢詩文に^し節を付けて詠む〕に適した和歌と漢詩文を集めたものである『12. 』が<13. >によって撰されたり、『14. 』という百科漢和辞典が<15. >によって編まれた。

④ かな物語では、「物語の出で来はじめの祖」といわれた『16. 』や^{ろっかせん}六歌仙の一人の<17. >をモデルとした歌物語の『18. 』、10c後半には、左大将の娘^{あてみ}賀宮をめぐり結婚譚の『19. 』や^{きこ}継子いじめの物語の『20. 』が生まれた。11cになると、日本古典文学の最高峰とされる『21. 』が一条天皇の中宮<22. >に仕えた<23. >によって書かれた。

(1) 11c初めに成立した世界最古の長編物語で、藤原氏全盛期の貴族社会を描写した物語文学の最高峰とされているものは? ()

⑤ 日記・随筆では、974年ごろに成立した<24. >の母の『25. 』、1001年ごろに成立した、一条天皇の皇后<26. >に仕えた<27. >の『28. 』や1060年ごろに成立した<29. >の女^{むめ}の『30. 』などがある。

(1) 一条天皇の皇后定子に仕えた人物によって書かれた随筆は？()

2 国風文化の書道・住宅・美術工芸

①書道では、(31.)とよばれた <32. >・<33. >・

<34. >の名手が現れた。33の代表作に『35. 』があり、34の作品には『^{ほくし し かん}白氏詩巻』があり、^{せ ぞん じ}世尊寺流の祖となった。

(1) それまでの唐風の書に対し、優美な線を表した和様が発達したが、その名手と称された人々のことを何と呼ぶ？ ()

(2) (1)をすべてあげよう。 ()・()・()

②平安時代には貴族の住宅として、中央に(36.)、東西に(37.)を置く(38.)の様式で建てられ、^{びょうぶ}屏風など建物内部の仕切りには、中国の故事や風景を描いた^{からえ}唐絵とともに、日本の風物を描く(39.)も描かれた。<40. >はその祖とされている。

(1) 平安時代中期に成立した、日本風の貴族の住宅様式を？ ()

(2) 10cになると、唐絵に代わって、日本の風物を題材とする何が描かれた？ ()

③また屋内の^{ちやうど ひん}調度品にも、^{うるし}漆で^{もんよう}文様を描き、それに金・銀などの金属粉によって絵模様をあらわす(41.)の装飾や^{や じやう がい}夜光貝などの貝殻を薄く磨き、器物にはめ込む(42.)の装飾がほどこされた。

(1) 平安時代に完成した技法で、漆で文様を描き、金銀などの金属粉によって絵模様とするものを？ ()

3 貴族の服装

①平安時代の男性貴族の正装には(43.)やそれを簡略にした(44.)があり、通常服には(45.)や(46.)があった。46から変化した(47.)は庶民の男子や武士に用いられた。女性の通常服は(48.)に(49.)を着けた。

(1) 平安貴族男子の正装を何という？ ()

②平安貴族女子の正装は(50.)を用い、後に(51.)とよばれた。

(1) 平安貴族女子の正装に用いられたのは？ ()